

ティアニー先生の診断入門

ローレンス・ティアニー, 松村 正巳 著

堀 成美

(聖路加看護大学看護学部基礎系看護学看護教育学)

ティアニー先生はよく「鑑別診断の神様」と評されるが、残念なことに世の中の人皆が神様に診断してもらえるわけではない。このため教えを理解して実践したり広める人が必要である。しかし、症例検討会のヒントに「それはハリソンに載っているかだけ教えてくれ」というような恐ろしいコメントをする神様の経験知は、ただ話を聞いただけでは共有が難しく、入門者に伝えるのはさらに大変なことである。初学者は何がわからないのか、何がつらいのか、何から学んだらいいのかをよく知り、「なんとかしてやろう」という愛なくしては立ち行かない作業である。これは医学・医療にかぎったことではない。

長年地域でよい医師を育てようと心血を注いできた松村先生ならではの愛情や熱意が、本書を通じて他の地域での神様の共有を可能にした。しかし、予想に反し、ページの構成は実にシンプル

で、選ばれたコメントには無駄がない。

本書は研修医向けではあるが、患者からの聞き取りを重視するティアニー先生のアプローチは、実は医師よりも長い時間患者と接することのできる看護職にこそ有用であると思う。

看護職は、経験的に感じ・得られる情報をたくさん持っているが、根拠に基づいた説明や、体系的に整理することに課題を抱えている。本書の1部には改善のヒントがたくさんある。

また2部では、1症例1症例からこんなにたくさんのかを学べるのだ、ということと、整理の仕方、フォーカスによってより早く適切な治療やケアに結びつくということを学べる。それは患者や家族の苦痛や心配を軽減することにもつながる。

ともに働く医師はどのように診断アプローチを学ぶのか、今何を考え実践しているのか、その理解と支援を通じ、よりよい看護の実践につなげていただければと思う。M

● A5 頁 152 2008 年

定価 3,150 円(本体 3,000 円+税 5%)

[ISBN978-4-260-00698-9] 医学書院刊